



この地域に住んでよかった

助け  よしみ

吉 身

12月1日現在 <前月比>

65歳以上男 1,734人<+5>

65歳以上女 2,037人<+3>

高齢化率 21.32%<+0.05>

発行 吉身学区社会福祉協議会

～みんなが手を取り 助け合う 心ぬくもる 地域の絆～

吉身学区社会福祉協議会 事務局長 馬場春造

新しい年を迎え皆さま方のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

昨年は、吉身学区社会福祉協議会に対しましてご支援ご協力を賜りありがとうございました。

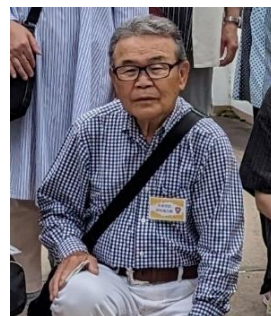
この表題は、吉身学区地域福祉活動計画のスローガンです。新年度は第四次計画のスタートの年になります。「吉身学区に住む人みんなが手を取り合って、助け合うことによって、心がぬくもり、地域の絆ができる」ということです。

新型コロナウイルス感染症以降、世間の風潮が何事においても簡略化され、強いては地域全体の繋がりが希薄になっていたように思います。そうした中で昨年、吉身学区では4年ぶりに学区民のつどいが開催され、また学区社会福祉協議会においても専門部会が中心になって活動して頂き地域の繋がりが戻りつつあるように思います。



昨年11月に開催された「福祉の心を育てるつどい」は幼稚園・小学校・中学校・専門部会・各種団体の皆さまに協力頂き、併せて外部から「吉身子育て応援チームの皆さま」「福祉事業所の皆さま」「企業の皆さま」に協力頂いて大成功のうちに終了しました。これが地域の絆だと思っています。

新年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。



福祉講演会【広報部会主催】

12月2日「行き場のない若者の居場所づくりから見えてきたこと」と題し、講演会が開催されました。講師にNPO法人やんちゃ寺代表・佐藤すみれさん、ファシリテーターに四つ葉のクローバーの元社員・山崎いずみさんをお迎えしました。

すみれさん自身の体験、活動紹介を中心とした内容でした。受講者のアンケートには、金髪の子を見た目で判断していないか？目の前にいるその子自身をみていきたい、見てみぬふりをする大人にはならない、若者への接し方の質問には「その子が得意なことを私、〇〇ができないから教えてほしい」と頼ってみると良い」といった回答をされました。昨年度の講演会后、ヤングケアラーが注目されていますが、みなさんの地域で、少し思春期の子どもたちがどうしてるかなと気にかけて頂けたらと思います。



グランドメゾン守山自治会

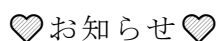
～第9回趣味の作品展を開催～

2年毎に趣味の作品展を開催しています。

この活動が交流の場となり、豊かな趣味の作品が並びました。子ども達も絵や習字の他に家族の似顔絵を缶バッジにしました。出来上がったときの驚きは印象的でした。

作品展も始めて18年が経過しますと常連さんの作品が見られなくなります。時の流れと共に変わっていく課題に向き合える機会でもありました。

市長をはじめ市議会議員の皆さんや他の自治会からも作品展に来ていただきありがとうございました。



民生児童委員と福祉協力員の活動内容がわかるパネルを更新しました。会館に設置しています。お立ち寄りの際はぜひご覧下さい。